

第4学年国語科学習指導案

日 時 平成16年11月19日(金)
児 童 男7名 女8名 計15名
指導者 教諭 藤森 考人

1 単元名

わたしたちの体について調べよう

2 教材名

「体を守る仕組み」 中村 桂子

3 教材について

本教材は、学習指導要領「C 読むこと」のイ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しくよむこと。」、オ「目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むこと。」を主なねらいとしたものである。したがって、「中心となる語や文をとらえること」「段落相互の関係を考えること」「内容を大きくまとめること」の指導を通して、筆者の主張や述べ方をとらえることが中心となる。

また、本教材は、病気の原因になる微生物から体を守る仕組みについて書いた説明的文章である。話者（筆者）が読者（児童）に語りかける文体で行われており、児童にとって抵抗なく内容理解が進み、自分の体を愛しく思う気持ちが変わってくる教材である。特に、書き出しはユニークで、読者が、日常なんの疑問も持たずに行っている呼吸という行為に目を向けさせ、読者の興味・関心を高め、読む意欲を喚起させている。また、体の仕組みのすばらしさを知ってほしいという筆者の思いや体をいとおしんでほしいと願いがこめられている。

構成については、12の形式段落で構成されており、まとめでみると3つに分かれている。第1のまとめは、話題提示として「体が微生物にとって住みやすい場所である」ことを伝え、読者への興味・関心を抱かせている。第2のまとめは、「微生物を体内に入れさせないようにする仕組み」と「体内に入ってきた場合の守り方」の説明を行っている。第3のまとめで「体を守る仕組みのすばらしさ」をまとめている。特に、第2のまとめは、「皮膚」「なみだ」「繊毛」の微生物を体の中に入れられない仕組みと「白血球」と「熱」の微生物が体の中に入ってきたときに戦う仕組みと二段構えで述べられており、わかりやすい構成になっている。

言語事項については、「でも」「また」「ですから」などの接続語が効果的に使われ、段落相互の関係を学習する上で適切な教材といえる。また、「それ」「その」「この」などの指示語も多く使われており、指示語の学習にも適切な教材といえる。

4 児童の実態について

4年生の児童は、素直で学習に取り組む姿勢がまじめである。特に、学習したことをノートにきれいにまとめて書いたり、学習プリントの書き込みなどを的確にできたりする児童が多い。しかし、自分の考えを発表することが苦手で、一度ノートなどに書いてから発表させるような手だてをとらなければならない児童が多い。

読み取りに関しては、叙述に即して読み取ることができるが、中心となる語や文をとらえることができる児童は、半数くらいである。また、それをもとに要点として内容を大きくまとめる点は、重要な言葉に気づかせるなどの手立てをとるとできるが、まだ自らまとめるまではいたっていない。段落相互の関係を考える点については、段落ごとの内容から関係をつかむことができるが、接続語の意識を持って読み取ったりすることは苦手である。

児童は、自分の体の変化や成長については、興味を持ち始めている。自分の体の成長を喜びとして感じていたり、一方で体の変化について不安を口にしたりしている児童もいる。成長過程で、9歳から10歳にかけては、第二次性徴期の入り口に差しかかる時期であり、特に不安や興味を抱く時期である。本単元は、第二次性徴を取り扱う単元ではないが、人間が持っている生きる力やそれを行う「体の仕組み」を知り、自分の生活、自分の体についてよく見つめ、見直すことができるようにしたい。

5 指導にあたって

本単元を通して、段落ごとの要点をおさえたり、段落相互の関係をとらえたりすることができるようにする指導が必要である。そこで、思考を促す発問を吟味することによって、段落ごとの叙述に即した読み取りを確実なものにしていきたいと考える。

「選択」させる発問で、「皮ふ」「なみだ」「落とす」「殺す」などの、微生物を体の中に入れないようにするための働きを表す大事な言葉に着目させさせたい。

「統合」させる発問で、5～8の段落が微生物を体の中に入れないようにする仕組みを説明しており、「皮ふ」「なみだ」「せん毛」のそれぞれの働きについてまとめさせたい。また、接続語に着目させ5～8の段落どうしが並列の関係であることをとらえさせたい。

「類推」させる発問で、体の中に微生物を入れられない仕組みについて具体的に想像させたり、「もし、それらの仕組みがなかったらどうなるだろうか」などとを考えさせたりすることで、体を守る仕組みのすばらしさをとらえさせたい。

学習活動では、中心になる言葉やくり返し出てくる言葉に着目させたり、叙述を整理して内容を読み取らせたりするために、ワー

クシートを活用する。記入させる際は、「皮ふ」「なみだ」「せん毛」が行う仕組みがどんな働きなのか、体のどの部分で行われているのかなど、項目ごとに整理してまとめさせたい。

また、繊毛や微生物などの用語や鼻や口がのどにつながっていることなど、体についての知識で文章から読み取ることができないものは、図を提示したり説明を加えたりして内容を理解できるように補足したい。

6 指導目標

自分たちの体について興味を持ち、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読む。

〔国語への関心・意欲・態度〕

- ・体について疑問に思うことについて本を読んで調べようとする。

〔読むこと〕

- ・書かれている内容を正確に読み取るために、各段落の要点や段落相互の関係をつかむ。

〔書くこと〕

- ・体について学習したことや調べたことを図やカードにまとめて、今の自分を記録する。

〔言語事項〕

- ・段落相互の関係を示す接続語や指示語について理解し、適切に使う。

単元の評価規準

〔国語への関心・意欲・態度〕

- ・体について疑問に思うことについて本を読んで調べようとしている。

〔読むこと〕

- ・書かれている内容を正確に読み取るために、各段落の要点や段落相互の関係をつかみながら読んでいる。

〔書くこと〕

- ・体について学習したことや調べたことを図やカードにまとめて、自分の体の部位や様子についてわかりやすく記録している。

〔言語についての知識・理解・技能〕

- ・段落相互の関係を示す接続語や指示語について理解し、適切に使っている。

7 指導計画と評価規準 (13時間)

段落	学習活動	評価規準	時間
つかむ	全文を通読し、初発の感想をまとめる。 ・題名読みをする。 ・全文を読む。 ・初めの感想を書く。(疑問や不思議に思ったこと、もっと調べてみたいことなど) ・新出漢字、難しい語句の練習をする。	〔国語への関心・意欲・態度〕 ・教材文を読んで、本文に書いてある体を守る仕組みについて関心を持ち、学習しようとしている。	1
	場面分け学習課題を立てる。 ・意味段落に分ける。 ・意味段落に小見出しをつける。 ・意味段落ごとに学習課題をたてる。	〔読む能力〕 ・接続語に注意して意味段落にわけ、意味段落ごとの学習課題を立てている。	2
よみとる	課題を解決する。 ・意味段落① (形式段落)を読む。 微生物にとって、わたしたちの体は、どんな場所なのだろう。	〔読む能力〕 ・人の体が微生物にとって住みやすい場所であることを読み取り、まとめている。	1
	・意味段落② (形式段落)を読む。 微生物から自分を守る仕組みとは、どんな仕組みだろう。	〔読む能力〕 ・微生物を体の中に入れないようにするための仕組みについて読み取り、まとめている。	本時 1
	・意味段落③ (形式段落)を読む。 微生物と戦うすばらしい仕組みとは、どんな仕組みだろう。	〔読む能力〕 ・微生物が体の中に入ってきた場合の戦う仕組みについて読み取り、まとめている。	1
	・意味段落④ (形式段落)を読む。 ・段落と段落のつながりを考え、教材文全体の段落構成を考える。	〔読む能力〕 ・体はたえず自分を守るために働き続けていることを読み取り、まとめている。	1

かんがえる	<p>全体の学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の思いについて考える。 ・学習してわかったこと、はっきりしたこと、筆者の言いたいことをまとめる。 ・まとめの感想を書く。 	<p>〔読む能力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の読者に体に興味を持って、大切にしてほしいという思いを読み取り、それに対する自分の考えを文章にまとめている。 	
いかす	<p>体を守る仕組みについてもっと知りたいことや疑問をもとに課題を作って調べる。</p> <p>わかりやすいまとめ方を考え、調べたことを絵図や表に表し、それを説明する文章を書きまとめる。</p>	<p>〔書く能力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの課題を持ち、資料を集めたり、調べたりしている。 <p>〔書く能力〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料の中から自分の必要な資料を選び、メモをしたり、文章で書いてまとめたりしている。 <p>〔言語についての知識・理解・技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した接続語をつかって、整理して文章を書きまとめている。 	6

8 本時の指導

- (1) 目標 微生物から自分を守る仕組みについて読み取る。
- (2) 展開

段階	学習活動及び学習場面	主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点	段階
つかむ 8分	<p>1 前時までの学習内容を確認する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>3 学習範囲を音読する。 (P 22 L 1 ~ P 23 L 8) 意味段落² (形式段落)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物にとって、わたしたちの体はどんな場所でしたか。 ・すみごちがよいわたしたちの体の中に微生物は、どうしてくるの。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>微生物から自分を守る仕組みとは、どんな仕組みだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・すみごちがよい場所。 ・微生物がふえやすい所 ・入ってくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物から自分の体を守るという意識をもたせる。 ・微生物が入ってくるという意識をもたせる。 ・音読する際は、段落ごとの中心になる言葉、くり返し出てくる言葉に気をつけさせる。 	
ふかめる	<p>4 学習範囲を読み深めていく。 意味段落²の中心になる言葉・くりかえし出てくる言葉を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 、 、 、 段落で中心になる言葉は、それぞれ何ですか。(選択) ・その段落にもくりかえし出てくる言葉は何ですか。(選択) 	<ul style="list-style-type: none"> ・皮ふ ・なみだ ・せん毛 ・このほか ・微生物 	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の中心になる言葉にサイドラインをひかせ、段落の中心となる言葉を確認する。 ・意味段落²の全体をおおまかに捉えさせる。 ・中心の言葉を意識させ、各々の具体的な仕組みをわかりやすくさせるために、中心になる言葉には、赤で微生物という言葉に青でサイドラインを引かせる。 	

	<p>形式段落 を読み取る。</p> <p>形式段落 を読み取り、まとめる。</p> <p>形式段落 を読み取り、まとめる。</p> <p>形式段落 を読み取り、まとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚があることで、微生物はどうなってしまいますか。(選択) ・微生物から自分を守る仕組みとして、皮膚はどんな仕組みを持っていますか。(統合) ・働きは、一つだけではないのだね。どの言葉で分かりますか。(選択) ・涙は、微生物をどうしますか。(統合) ・微生物から自分を守る仕組みとして、涙はどんな仕組みを持っていますか。(統合) ・「しかも」という言葉からどんな感じをうけますか。(類推) ・これらとは何を指していますか。(選択) ・微生物から自分を守る仕組みとして、せん毛はどんな仕組みを持っていますか。(統合) ・せん毛は、体のどの部分についていますか。(選択) ・髪の毛とせん毛は、同じ毛という字があるけど、何がちがいますか。(類推) ・せん毛が、動くということが分かるところはどこですか。(選択) ・外へ外へ押し出すとはどんな動きだろう。(類推) ・「まず」や「それから」「これらとともに」を別の言葉で表したら、何になるだろう。(統合) ・ と仕組みをみてきたけど、この段落ではどんな仕組みがあると書いてありますか。(選択) ・このほかに微生物から自分を守るための仕組みといたらどんなものがあるだろう。(類推) ・「それにも関わらず」とは、どういうことですか。(選択) 	<ul style="list-style-type: none"> ・微生物は、体の中に入っ てこられない。 ・微生物も落ちる。 ・皮膚が微生物を体の中に入れない仕組み ・皮膚が微生物を落とす仕組み ・それだけでなく ・微生物を流してしまう。 ・微生物を殺す ・涙が微生物を流したり、殺したりする仕組み ・強調している ・皮膚 ・ 涙 ・鼻や口から入ってきた微生物を押し出す仕組み ・のどのおく ・細かい ・動く ・外へ外へと押し出す ・(手をくり返し前に突き出すような動作を行う。) ・第1に、第2に、第3に ・1つ目は、2つ目は、3つ目は ・このほかのたくさんの仕組み ・鼻毛がほこりを中に入れない仕組み ・たんがごみを入れない仕組み ・自分を守るためのたくさんの仕組みがあるがあるにも関わらず 	<ul style="list-style-type: none"> ・老化については、あらかじめ意味を確認しておく。皮膚があかになることについて、補助的に説明を加える。 ・本文の説明では、微生物が主語になっているが、皮膚を主語にしてまとめさせる。「入ることはありません」を「入れさせない」「落ちる」を「落とす」という表現に変えることを補足する。 ・形式段落 については、時間の軽重をつけるため、詳細な読み取りは行わない。 ・欄外にあるせん毛の説明から、せん毛が細いということを確認させる。 ・「外へ外へ」や「押し出す」という表現から、せん毛が動くということを捉えさせ、その動きを想像させたい。その際、動作化させ、その動きをイメージさせたい。 ・「このほか」の自分を守る仕組みについては、子どもからいくつか意見を出させたい。また、あらかじめ教師が調べておいて説明をし、本などでも調べたいと思えるように意欲をもたせたい。 	
--	--	--	---	---	--

32分	<p>意味段落2をまとめる</p>	<p>・微生物から自分を守る仕組みとは、どんな仕組みですか。(統合)</p> <p>・今日見てきた具体的な仕組みを、一つの文でまとめるとしたらどんな仕組みとまとめられますか。(統合)</p>	<p>微生物から自分を守る仕組みとは、</p> <p>まず、皮膚には、微生物を体の中に入れさせない仕組みと微生物を落とす仕組みがある。</p> <p>それから、涙には、目から入ろうとする微生物を流す仕組みと微生物を殺す仕組みがある。</p> <p>これらとともに、せん毛が入ってきた微生物を外へ外へとおい出す仕組みがある。</p> <p>・このほかにもたくさんの仕組みがある</p> <p>・微生物を体の中に入り込ませない仕組み</p>	<p>・まとめは、穴埋めの形式で行わせる。</p> <p>〔指導を要する児童の手立て〕</p> <p>・板書してある言葉に気づかせ、その言葉をつなげて、まとめさせるように指導する。</p>	<p>〔評価規準〕</p> <p>微生物から自分を守る仕組みについて読み取っている。</p> <p>〔具体的評価規準〕</p> <p>A：自分を守る仕組みとは、微生物を体の中に入れない仕組みであるということを読み取り、その仕組みを大事な言葉を使ってまとめている。</p> <p>B：自分を守る仕組みについて、各段落の大事な言葉を見つけ、まとめている。</p> <p>(ワークシート発言)</p>
まとめ5分	<p>5 学習段落をまとめる。</p> <p>6 今日の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習を確認する。</p>	<p>・まとめの音読をしよう。</p> <p>・今日の学習で分かったことを書きましょう。</p> <p>・次の時間は、微生物と戦うすばらしい仕組みについて学習します。</p>		<p>・ふりかえりのワークシートに書き込ませ、指名し発表させる。</p>	

9 板書計画

微生物を体の中に入りこませない仕組み

このほか たくさんの仕組み

二 体を守る仕組み

微生物から自分を守る仕組みとは、

まず、**皮膚**には、微生物を体の中に入れさせない仕組みと、微生物を落とす仕組みがある。

それから、**涙**には、目から入ろうとする微生物を流す仕組みと、微生物を殺す仕組みがある。

これらとともに、**せん毛**には、入ってきた微生物を外へ外へとおい出す仕組みがある。

このほかにもたくさんの仕組みがある。

これらとともに

せん毛 外へ外へと押し出す仕組み

それから

なみだ ながす仕組み 殺す仕組み

落とす仕組み

まず

皮膚 体の中に入れられない仕組み

微生物から自分を守る仕組みとは、どんな仕組みだろう。

なみだの絵

教卓

O . H 発表 読むこと	T . M 発表 読むこと
M . W 発表 読むこと	C . N 発表 読むこと
	K . Y 発表 読むこと

M . S 発表 読むこと	I . A 発表 読むこと
I . M 発表 読むこと	T . Y 発表 読むこと
O . Y 発表 読むこと	

M . R 発表 読むこと	M . K 発表 読むこと
S . S 発表 読むこと	T . K 発表 読むこと
I . A 発表 読むこと	

〔発表〕

意欲的に自分の考えを発表する。
自信があることは進んで発表する。

〔読むこと〕

書かれていることを正しく読み取ることができる。
書かれていることを概ね読み取ることができる。